

委員長 田口 徹

本年度、こころコミュニケーションズ委員会では、スポーツを通じて“こころ”と“こころ”のコミュニケーション能力の向上した子ども達が、自ら未知なる環境へ飛び込み、自らの可能性を広げ、多くの場面で活躍できる契機を創造する事業を構築しました。

まずは、5月第一例会で、礼節と思いやりをもって人と対峙する第30回わんぱく相撲浦安場所を開催しました。今回は本試合の前に必ず全員1度練習試合を実施しました。練習試合を終えた後、次の本試合に向けて相手とどう戦うかを考えながら本番に挑み、相手の言葉以外から様々な事を意識することが出来たと考えます。試合後には勝者が敗者の手を取り、元の位置に戻り、礼をするように努めました。相手を意識し、礼節と思いやりを持たせ、柔軟なこころの成長を促せたと感じました。

また、10月第一例会では、自らとは違う価値観を持つ相手とも信頼関係を築く例会として「わんぱくタグラグビー 浦安大会」を開催し、浦安市内4つ小学校の生徒を分散させてチームを組みました。互いを尊重し合える社交性を持った子ども達の育成に寄与したと考えます。当日は、初めて会う子ども達同士のチーム内の喧嘩などのトラブルが少々ありましたが、各チーム毎に試合前に作戦を話し合い、試合を追う毎に子ども達のコミュニケーションが活発化していることを感じ取れました。設営上、様々なトラブルがありましたが、前日まで委員会メンバーが気を抜かずに準備をし、更には参加した青年会議所メンバーの協力があつてこそ、無事に大きな怪我も無く、目標を達成が出来たと思います。

最後に、こころコミュニケーションズ委員会の各事業にご協力、賛同頂いた浦安市民の方々、関係諸団体、行政の皆様、浦安青年会議所メンバーの手厚いご支援に多大なる感謝御礼を申し上げます。そして1年間、絶え間なく支えてくれました委員会メンバーの皆様には、言葉に出来ないほど、“こころ”から感謝申し上げます。

一年間、本当にありがとうございました。